

Make every second count with high-performance OCT.



**シラス HD-OCT Premium
モデル 6000**



Seeing beyond

High-Performance OCT

Advance your fast-paced practice

CIRRUS® 6000は高速スキャン、高解像画像、広範囲スキャンを可能とする次世代OCTです。

Performance OCT

100kHzの高速スキャンにより、詳細な画像を短時間に取得でき 患者負担を軽減します。

Proven Analysis

様々な網膜疾患を診断 フォローするのに適した実績のある解析を行えます。

Patient First

CIRRUS® 6000は従来のCirrus OCTのデータを引き継いで使用できます。



The power of 100,000 scans per second

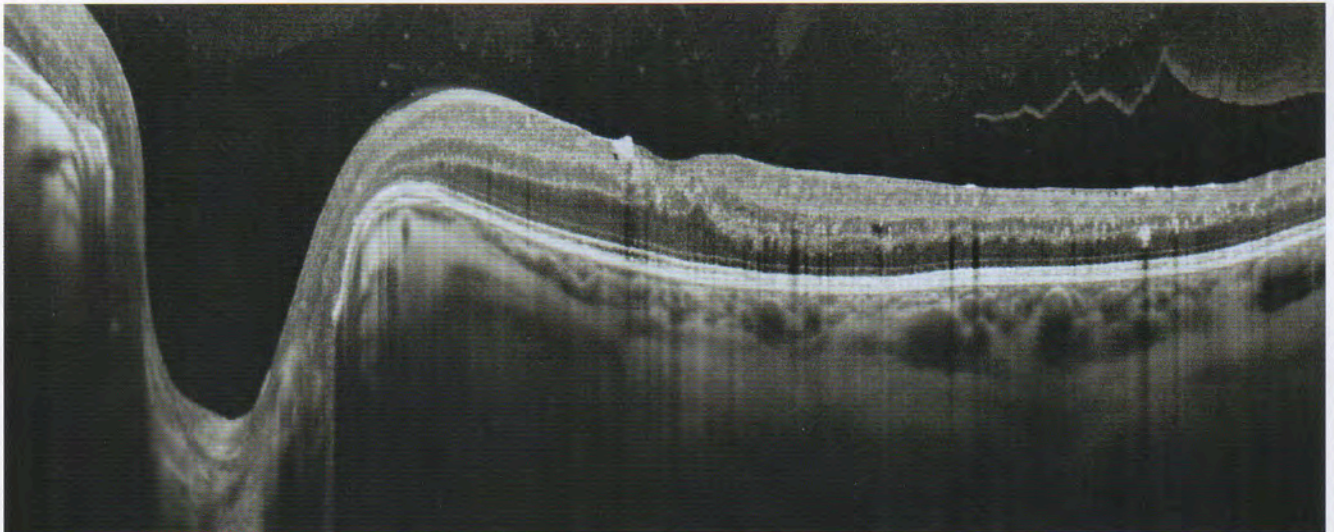
Faster Imaging

FastTrac™ アイトラッキングテクノロジーと高速スキャンによりまばたき等によるモーションアーティファクトを減少します。

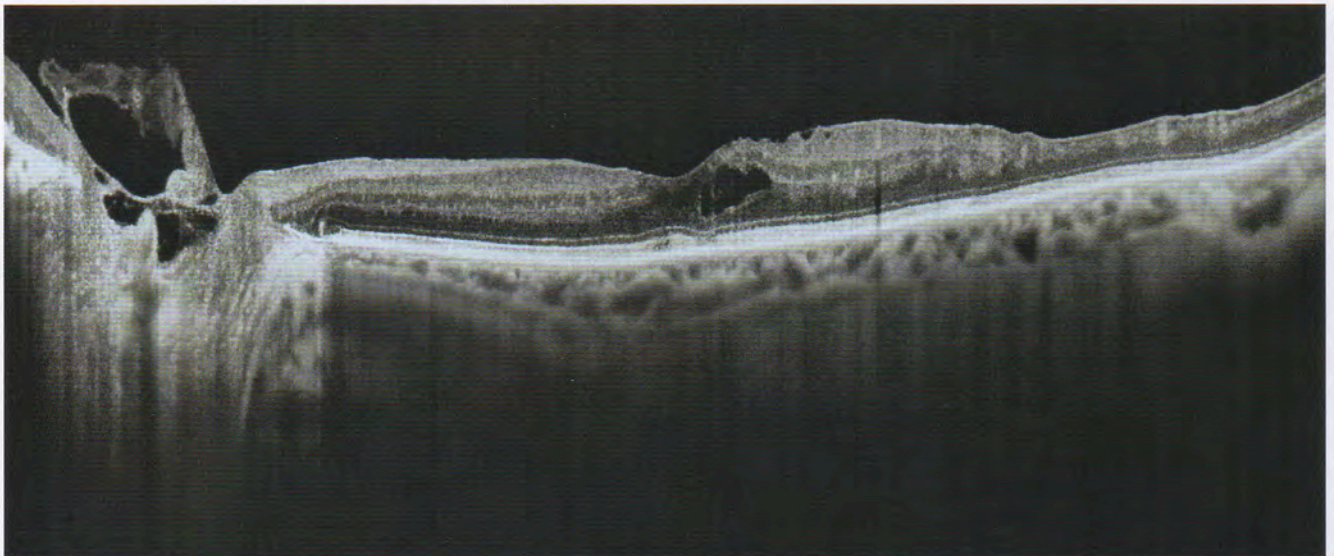
Greater Detail

高解像度画像で より詳細に描出します。

- 一度のスキャンで 3×3、6×6、8×8 mm、12×12 mmのOCTA画像を取得可能です。
- 同じ画角で さらに詳細なHD AngioPlexスキャンを取得可能です (6×6および8×8 mm)。
- 2.9 mmのスキャン深度 (8×8mm、12×12mm)で取得できます。



12 mm HD 1 Line Raster 100x averaged. (画像提供 Leng, MD, Byers Eye Institute, United States)



12 mm HD 1 Line Raster 100x averaged. Image courtesy of Theodore Leng, MD, Byers Eye Institute, United State

Patient First

Cirrus 6000は従来のCirrus OCT (400, 4000 500 5000) のデータを引き継ぐことが可能です。歴代のCirrus OCTデータを用いての変化解析 フォローアップ観察、各種GPA解析が可能です。また、従来までのスキャンパターンを全て搭載しており、今までと同じ条件でのフォローアップ測定が可能となっております。



CIRRUS 4000



CIRRUS 5000



CIRRUS 6000

Proven Analysis

Angio Plex

AngioPlexは眼循環に関する疾患、異常血管、新生血管、毛細血管瘤等を造影剤を用いずに非接触、非侵襲的に取得できます。また、網膜内層別解析で各層の血管網を表示できるために、病態の構造を解明する検査としても有用です。

AngioPlex 解析画面

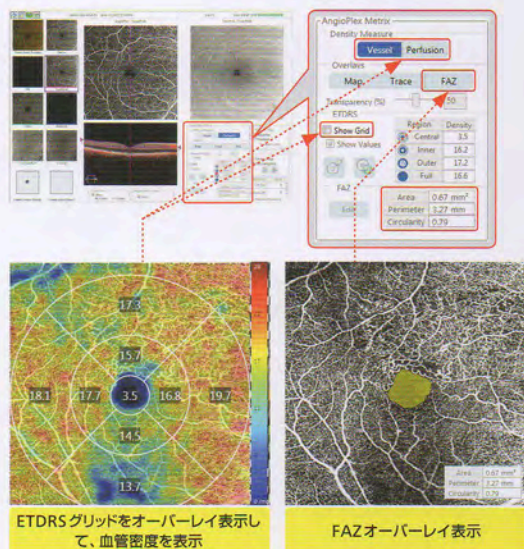


解析画面では画面左側にプリセットスラブ カスタムスラブ 画面中央に OCTA画像、中央下に OCT Bスキャン 画面右側に EnFace画像が表示されます。スラブに連動したAngiography画像、OCT Bスキャン画像、EnFace画像が常に表示されるため、疾患によるものか、アーチファクトによるものか等、画像に影響する要因を確認でき Angiographyの信憑性を直感的に評価できます。

- 1 プリセットスラブ
- 2 カスタムスラブ
- 3 Angiographyマップ
- 4 Enface画像
- 5 OCT Bスキャン

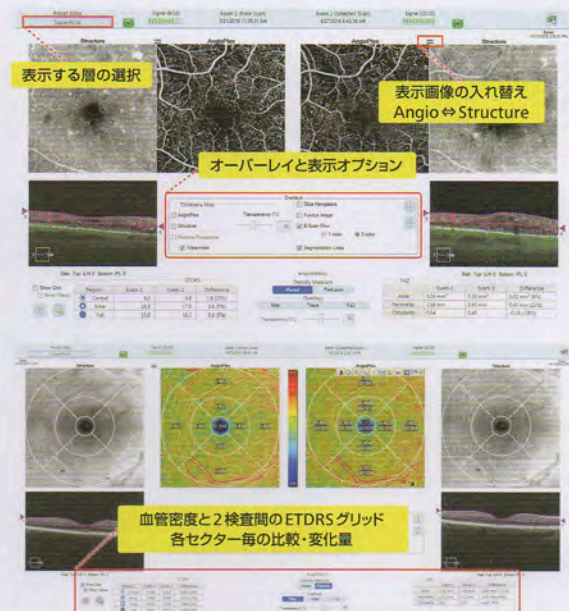
OCT Angiography 定量解析

網膜表層の中心窩無血管領域 (FAZ) ETDRSグリッドセクタ別の血管密度と灌流量を解析し、OCT画像 en face像、Angiography像マップが同一画面に表示されます。



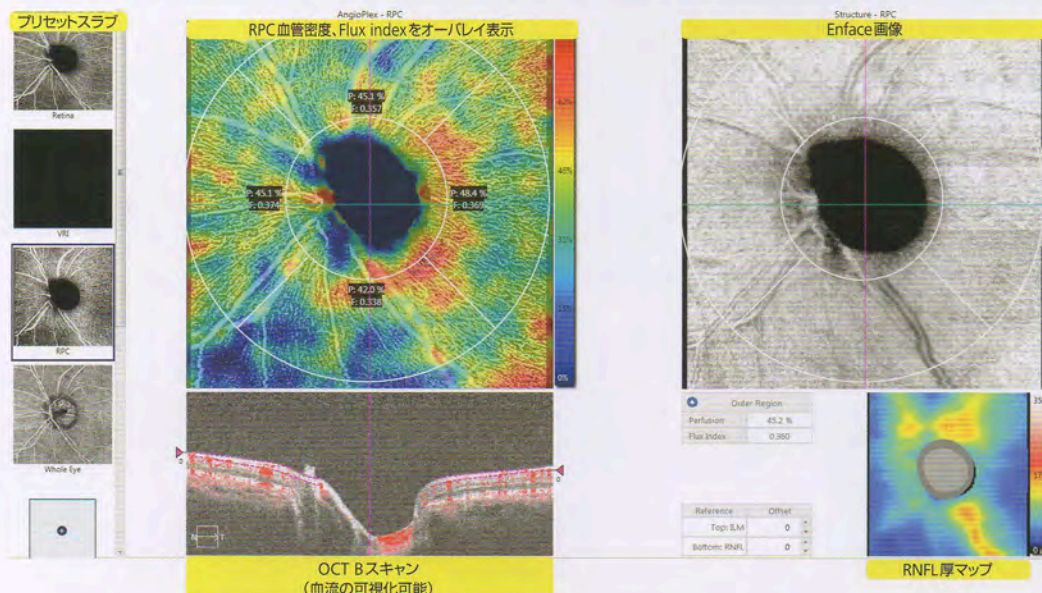
OCT Angiography Change Analysis

2検査間のOCT Angiography画像と血管密度、灌流量の割合の比較解析が可能です。



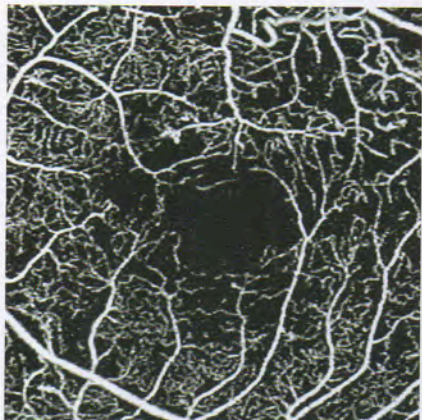
Angioplex ONH Analysis

Angioplex ONH AnalysisではRPC(乳頭周囲毛細血管) 血管密度、Flux index (毛細血管における血流指数) を表示します。

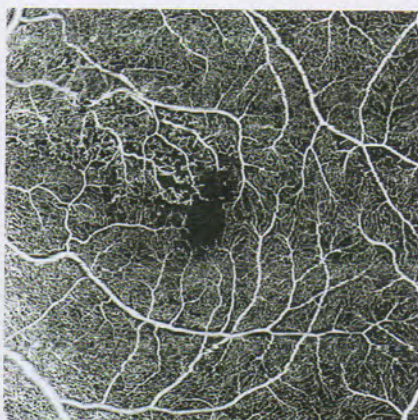


Performance OCT

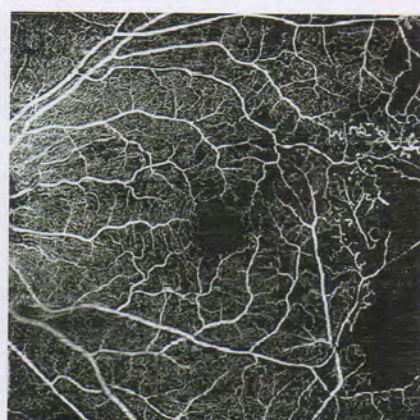
CIRRUS 6000は、一度のスキャンで広範囲のOCT Angiography画像を習得でき 高解像度OCTAスキャンを用いて より詳細な観察を可能とします。また、100kHzの高速スキャンにより、撮影時間が短時間となるので 患者の負担を軽減します。



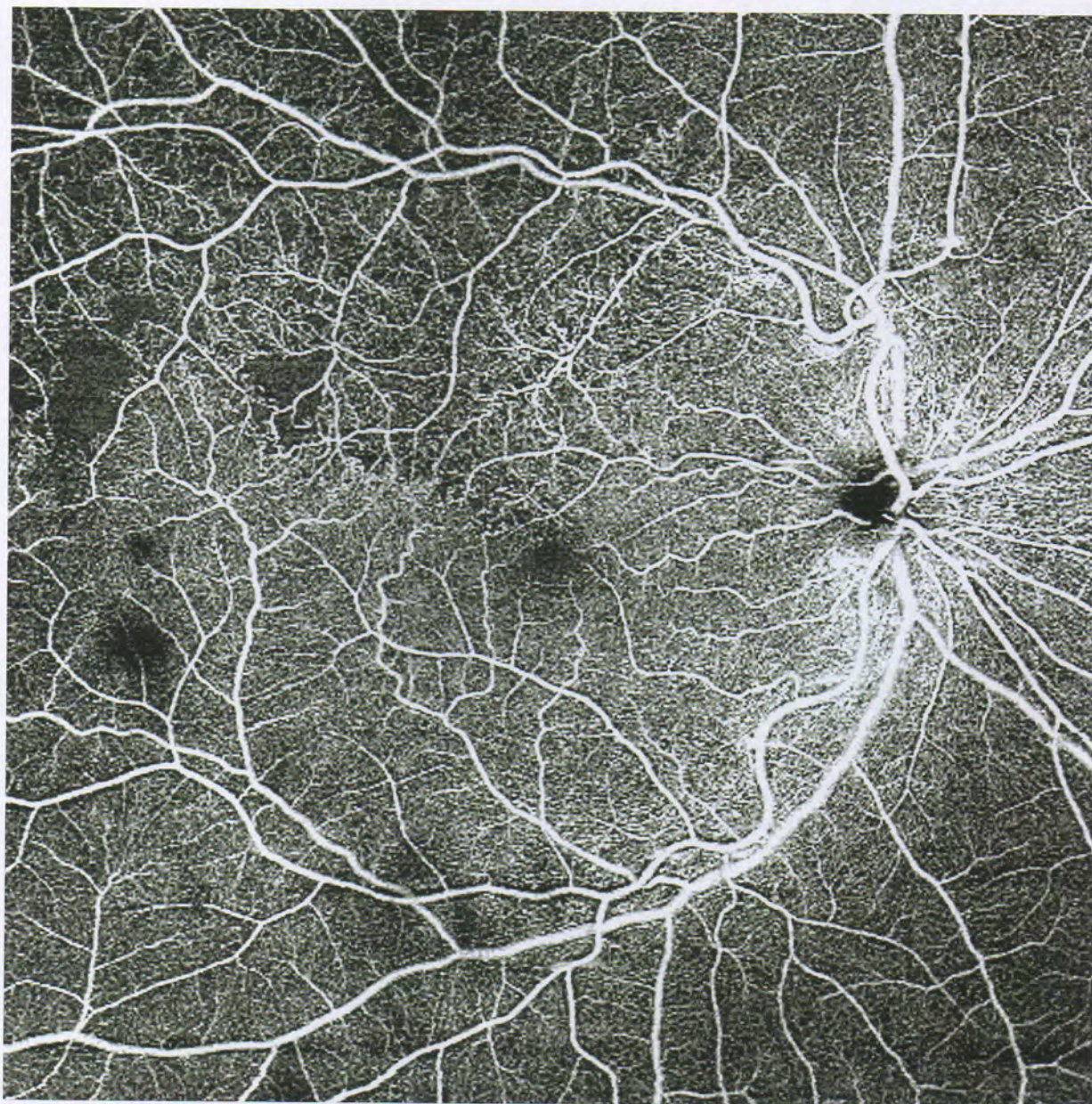
3×3 mm OCTA of proliferative diabetic retinopathy (PDR). Image courtesy of Roger Goldberg, MD, Bay Area Retina Associates, United States



6×6 mm HD OCTA of non-proliferative diabetic retinopathy (NPDR). Image courtesy of Roger Goldberg, MD, Bay Area Retina Associates, United States



8×8 mm HD OCTA of BRVO. Image courtesy of Roger Goldberg, MD, Bay Area Retina Associates, United States



12×12 mm single-shot OCTA of branch retinal vein occlusion (BRVO). Image courtesy of Jesse Jung, MD, East Bay Retina, United State

Cirrus OCTはこれまでの蓄積データを大切にします

- ※従来までのCirrus400 4000 500 5000のデータを引き継いでの変化解析やフォローアップ解析 GPA 解析が可能です
- ※既存の黄斑部 緑内障スキャン及び解析ソフトウェアは全て搭載されており、開発による更なるプログラムの追加等の拡張性を備えています
- ※データマネージメントシステム FORUM と連携することで HFAや眼底カメラとデータを統合し「機能と構造」の両面による新しい解析が行えます

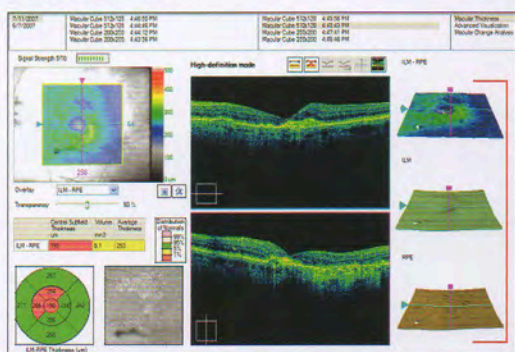
FastTrac 網膜トラッキングシステム

20kHz高速LSOカメラとアライメントスキャン方式によりリアルタイムで被検眼を追従し、固視不良 瞬目 回旋等によるアーチファクトを除去した精度の高いOCT画像 Angiography画像が得られます。FastTracでは過去のスキャンと同一部位を取得するリピートスキャンも行えます。

Retina

Macular Thickness Analysis

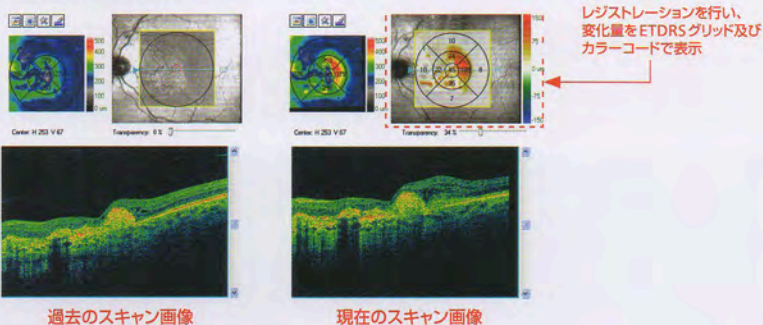
黄斑部網膜厚解析



Macular Cube512x12/200x200で取得した画像解析。
正常との比較を行います。

Macular Change Analysis

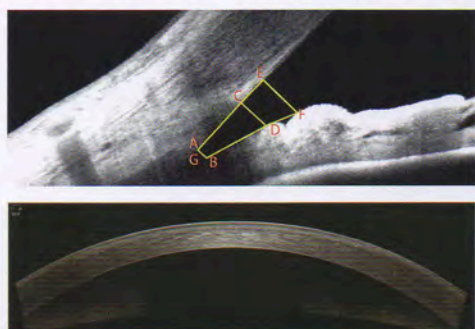
黄斑部網膜厚変化解析



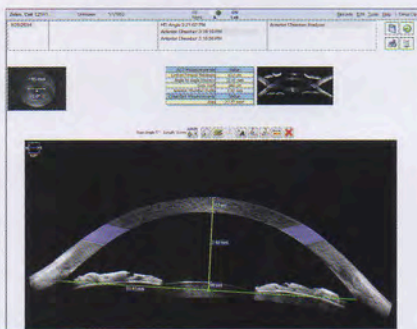
Macular Cube512x128/200x200で取得した任意の2検査の
比較を行い、変化量を定量化します。

Cornea(オプション)

オプションレンズを用いる事で 最大水平 15.5mm×垂直 14mmで前眼部(角膜～前房隅角)を一度に取得します。
また、放射状に24本のスキャンを行う事で 角膜厚マップを構築します。



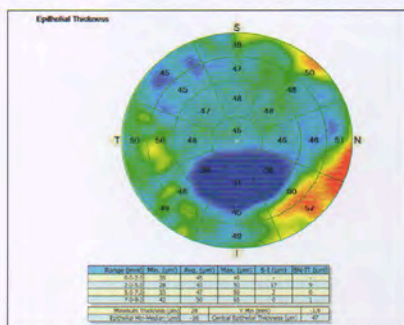
高解像度スキャン



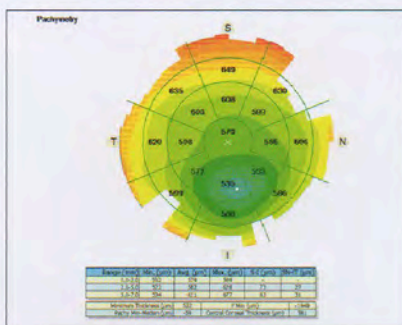
前房深度測定用ツール



*前眼部スキャンにはオプションレンズが必要となります



バキメトリーマップ

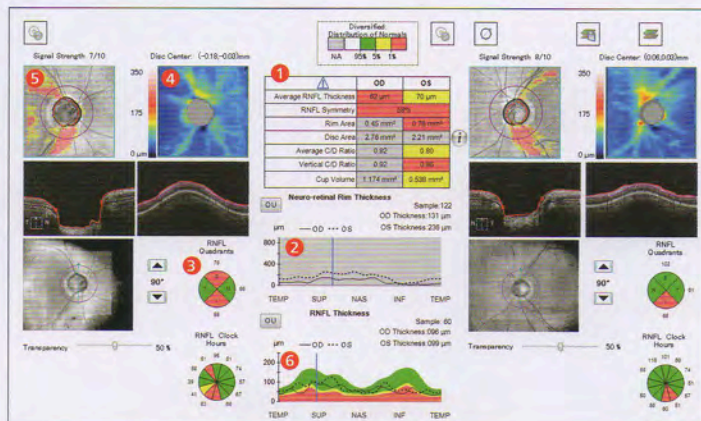


角膜上皮マップ

ONH and RNFL OU Report 視神経乳頭形状・網膜神経線維層厚解析

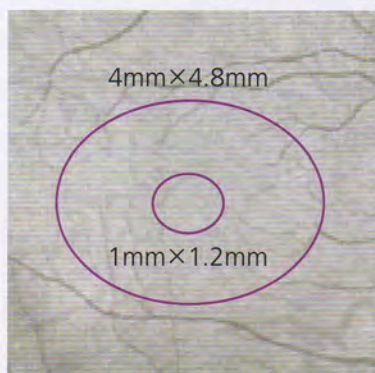
視神経乳頭形状解析と網膜神経線維層厚解析を同時に行い、両眼の解析結果を同一画面 同一ページに表示します。網膜神経線維層厚解析は6mm×6mm立方内及び直径3.46mm円周線上2つの解析を行い、同時に年齢別正常データベースとの比較を行います。視神経乳頭形状解析は、独自のアルゴリズムにより乳頭辺縁と陥凹の検出を行い、数値化します。

- 1 両眼の Rim Area, Disc Area, 平均 C/D 比, 垂直 C/D 比
- 2 ディスク全周の Rim 幅グラフ表示及び正常データベースとの比較
- 3 3.46mm 円周の RNFL 線上セクター及び正常データベースとの比較
- 4 RNFL カラーマップ
- 5 RNFL ディバイエーションマップ (正常との比較)
- 6 3.46mm 円周上の RNFL 厚 (正常との比較)

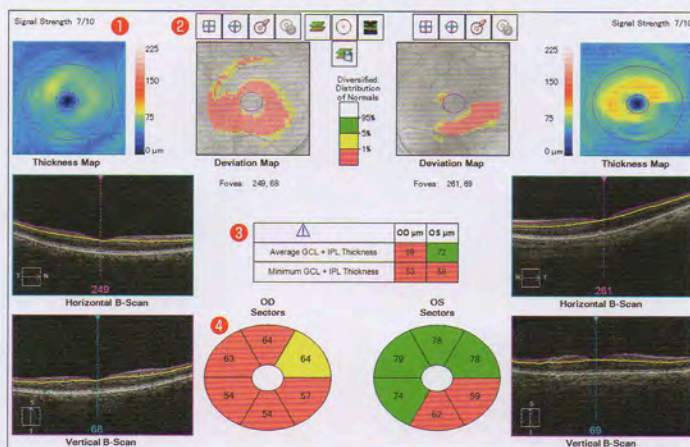


Ganglion Cell Analysis (GCA) 神経節細胞層解析プログラム

早期緑内障で有用とされる神経節細胞と内網状層複合体の厚みを計測し、正常との比較解析を行います。シラスでは、下図の楕円状の範囲内での解析データを表示します。この領域は神経節細胞の分布に基づいており、黄斑部内の神経節細胞の微細変化を鋭敏に捉えることができます。



GCA 解析範囲

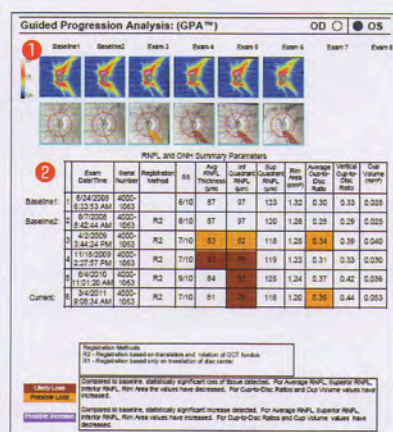
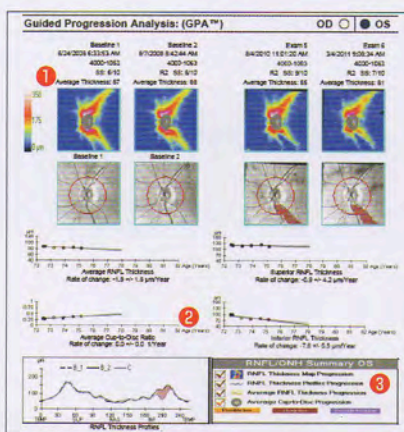


- 1 GCL+IPL 複合体厚のカラーマップ
- 2 ディバイエーションマップ (正常データ)
- 3 GCL+IPL 複合体平均厚、最小厚の表示
- 4 正常データベースとの比較を行い、各セクターごとにカラー表示

GPA (網膜神経線維層厚・視神経乳頭形状 経過観察プログラム)

網膜神経線維層厚及び視神経乳頭形状のイベント解析トレンド解析を行います。解析の際、Auto Centerによるディスク中心及びディスクとカップの検出、直径3.46mmの円周線上解析および Auto Registration 機能による確実なレジストレーションが行われ、ディバイエーションマップ TSNIT グラフでのベースラインとの比較 解析が行われます。視神経乳頭リム面積、C/D 比の変化を捉えます。

- 1 RNFL カラーマップ (上部)
ベースラインからのディバイエーションマップ (下部)
- 2 平均 RNFL 上方・下方平均 RNFL、平均 C/D 比の経時プロットと各パラメータ解析
- 3 各パラメータにおける進行評価



テクニカルデータ

シラス HD-OCT Premium モデル6000

画像	
方式	スペクトラルドメイン
光源	スーパーミネルバ光源 (SLD) 840nm
スキャンスピード	100,000 スキャン/秒
スキャン深度	2.0-2.9mm
軸 (深度) 方向解像度	5µm
横断面解像度	15µm
最小瞳孔径	2.0mm
焦点調整範囲	-20D ~ +20D
眼底像	
方式	ライン式共焦点 (LSO)
光源	スーパーミネルバ光源 (SLD) 750nm
画角	36°W × 30°H
電源 / サイズ	
本体重量	35 kg
本体サイズ	62.2×42.5×29.2 (モニターを除く)
電源	100V 50/60Hz 6.3A
コンピュータ	
モニター	22 インチ ワイドスクリーン
モニター解像度	1920×1080
内蔵ストレージ	2TB HDD , 128GB SSD
本体 OS	Windows 10 Enterprise
レビューソフト	
対応 OS	windows10,windows8.1 ,windows7 (64bitのみ),windows server2012R2
CPU (推奨)	Core i 7 Family
RAM (推奨)	32GB
HDD (推奨)	1TB
モニター解像度	1920 × 1080

認証番号: 301AHBZX00013000
 販売名: シラス HD-OCT premium

詳しくは、下記のカールツァイスメディテック (株) 各営業所へ お電話もしくはウェブサイトへ、または弊社器械製品取扱店へお問い合わせください。

製造販売元
カールツァイスメディテック株式会社
 〒102-0083
 東京都千代田区麹町
 二丁目10番9号
 TEL: 0570-021311
 FAX: 03-5214-1251
<http://www.zeiss.co.jp/med>

大 阪 営 業 所 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-35-22
 Tel 06-6337-5464 Fax 06-6337-5477
 名古屋営業所 〒465-0043 名古屋市名東区宝が丘25
 Tel 052-777-1411 Fax 052-777-1417
 福岡営業所 〒810-0062 福岡市中央区荒戸2-1-5
 Tel 092-713-7821 Fax 092-711-0776
 仙 台 営 業 所 〒980-0014 仙台市青葉区本町1-12-7
 Tel 022-224-5621 Fax 022-224-5626

●本製品の仕様はお断りなしに変更させていただくことがあります。
 ●本カタログ中の製品の色彩は印刷のため実物とは多少異なることがあります。

医科向け